

正 誤 表

工 事 名	藤の木ポンプ所ほかポンプ制御盤取替等電気設備工事			
工事担当課	広島市水道局技術部設備課			
公 告 日	令和7年3月25日			
番号	修正箇所	修正内容		備考
		誤	正	
1	(特記仕様書) 第3章 藤の木調整池 第4節 計装設備	<p>1 投込式水位計 2台</p> <p>(1) 投込式水位計電源装置は藤の木ポンプ所の計装盤に1台、藤の木調整池の計装盤に1台を取り付けるものとする。</p> <p>(2) 水位信号選択回路(調整池)について</p> <p>ア 水位計計測値は、遠方監視制御装置に伝送する信号を常用とし、連絡ケーブルに伝送する信号を予備とする。</p> <p>イ 別紙運転操作方案を参考にすること。</p> <p>ウ 詳細については監督員との協議のうえ決定するものとする。</p>	<p>1 投込式水位計 2台</p> <p>(1) 水位計発信器 投込式水位計付属品(1台あたり)</p> <p>(ア) 中空ケーブル</p> <p> a 材質 エコケーブル</p> <p> b 長さ 8m以上</p> <p>(イ) クレモナロープ 長さ 7m以上</p> <p>(2) 水位計中継箱(実目盛付)</p> <p>ア 設置・取付 屋外形・スタンド式</p> <p>イ 測定範囲 0～5.0m</p> <p>ウ スタンド・日除けカバー SUS304</p> <p>(3) 投込式水位計電源装置は藤の木ポンプ所の計装盤に1台、藤の木調整池の計装盤に1台を取り付けるものとする。</p> <p>(4) 水位信号選択回路(調整池)について</p> <p>ア 水位計計測値は、遠方監視制御装置に伝送する信号を常用とし、連絡ケーブルに伝送する信号を予備とする。</p> <p>イ 別紙運転操作方案を参考にすること。</p> <p>ウ 詳細については監督員との協議のうえ決定するものとする。</p>	別紙1、2

3 配管配線	一式
第3節 監視制御設備	
1 遠方監視制御装置盤	1面
(1) 構造	
ア 型式	屋内壁掛形 前面保守形
イ 保護等級	IP2XC相当
ウ 材質	鋼板製
(2) 盤内取付機器	
ア 遠方監視制御装置	1組
イ ルーター	1台
(3) 概略寸法	
700W×1, 100H×400D (単位 mm)	
(4) 入出力項目	
ア 入出力項目表を参考にすること。	
イ 入出力項目に対応した内部データには、項目名称、測定範囲、工業単位等維持管理に必要な設定を行うこと。	
ウ 詳細については監督員と協議のうえ決定するものとする。	
(5) 将来の遠方監視制御装置の更新工事を踏まえ、リレー等から直接、遠方監視制御装置に配線するのではなく、一旦、中継端子台を介して遠方監視制御装置に配線し、外部とのインターフェースを確保するものとする。	
(6) 遠方監視制御装置及びルーター等を取付板に取付ける等、遠方監視機能をグループ化し、取付け・取外しが可能な構造とすること。	
(7) 次の施設間をフレッツVPN回線により相互に通信するものとする。	
ア 藤の木ポンプ所、藤の木調整池、高陽浄水場（水運用システム）	
イ 藤の木調整池、緑井浄水場（遠方監視制御装置）	
2 光接続箱	1個
(1) 構造	
ア 形式	屋内壁掛形 前面保守形
イ 材質	鋼板製
(2) 概略寸法（参考）	
300W×400H×200D (単位 mm)	
(3) 取付機器	
ア 終端装置（別途通信業者施工）	1個
第4節 計装設備	
1 投込式水位計	2台
(1) 投込式水位計電源装置は藤の木ポンプ所の計装盤に1台、藤の木調整池の計装盤に1台を取り付けるものとする。	
(2) 水位信号選択回路（調整池）について	
ア 水位計計測値は、遠方監視制御装置に伝送する信号を常用とし、連絡ケーブルに伝送する信号を予備とする。	
イ 別紙運転操作方案を参考にすること。	
ウ 詳細については監督員との協議のうえ決定するものとする。	
第5節 特殊電源設備	
1 無停電電源装置	1台
(1) 仕様	
ア 定格出力	1A以上
2 UPS架台	
(1) 概略寸法（参考）	
700W×150H×500D (単位 mm)	
(2) 塗装	

3 配管配線	一式
第3節 監視制御設備	
1 遠方監視制御装置盤	1面
(1) 構造	
ア 型式	屋内壁掛形 前面保守形
イ 保護等級	IP2XC相当
ウ 材質	鋼板製
(2) 盤内取付機器	
ア 遠方監視制御装置	1組
イ ルーター	1台
(3) 概略寸法	
700W×1, 100H×400D (単位 mm)	
(4) 入出力項目	
ア 入出力項目表を参考にすること。	
イ 入出力項目に対応した内部データには、項目名称、測定範囲、工業単位等維持管理に必要な設定を行うこと。	
ウ 詳細については監督員と協議のうえ決定するものとする。	
(5) 将来の遠方監視制御装置の更新工事を踏まえ、リレー等から直接、遠方監視制御装置に配線するのではなく、一旦、中継端子台を介して遠方監視制御装置に配線し、外部とのインターフェースを確保するものとする。	
(6) 遠方監視制御装置及びルーター等を取付板に取付ける等、遠方監視機能をグループ化し、取付け・取外しが可能な構造とすること。	
(7) 次の施設間をフレッツVPN回線により相互に通信するものとする。	
ア 藤の木ポンプ所、藤の木調整池、高陽浄水場（水運用システム）	
イ 藤の木調整池、緑井浄水場（遠方監視制御装置）	
2 光接続箱	1個
(1) 構造	
ア 形式	屋内壁掛形 前面保守形
イ 材質	鋼板製
(2) 概略寸法（参考）	
300W×400H×200D (単位 mm)	
(3) 取付機器	
ア 終端装置（別途通信業者施工）	1個
第4節 計装設備	
1 投込式水位計	2台
(1) 水位計発信器	
投込式水位計付属品（1台あたり）	
(ア) 中空ケーブル	
a 材質	エコケーブル
b 長さ	8m以上
(イ) クレモナロープ	
長さ	7m以上
(2) 水位計中継箱（実目盛付）	
ア 設置・取付	屋外形・スタンド式
イ 測定範囲	0～5.0m
ウ スタンド・日除けカバー	SUS304
(3) 投込式水位計電源装置は藤の木ポンプ所の計装盤に1台、藤の木調整池の計装盤に1台を取り付けるものとする。	
(4) 水位信号選択回路（調整池）について	
ア 水位計計測値は、遠方監視制御装置に伝送する信号を常用とし、連絡ケーブルに伝送する信号	

を予備とする。

イ 別紙運転操作方案を参考にすること。

ウ 詳細については監督員との協議のうえ決定するものとする。

第5節 特殊電源設備

- | | | |
|-----|------------------------|------|
| 1 | 無停電電源装置 | 1台 |
| (1) | 仕様 | |
| ア | 定格出力 | 1A以上 |
| 2 | UPS架台 | |
| (1) | 概略寸法 (参考) | |
| | 700W×150H×500D (単位 mm) | |
| (2) | 塗装 | |
| | 亜鉛めっき塗装 | |
| 3 | UPS接続箱 | |
| (1) | 材質 | |
| | 硬質ビニル製 | |
| (2) | 取付機器 | |
| ア | 配線器具 | |

第6節 接地材料

- | | | |
|-----|----------------|----|
| 1 | 接地端子箱 (既設) | 1個 |
| (1) | 端子数 | |
| ア | 接地極用 | 2組 |
| | (ア) D種 | |
| | (イ) D種 (ELCB用) | |

第7節 電灯コンセント設備

- | | | |
|---|------|----|
| 1 | 照明器具 | 一式 |
| 2 | 配線器具 | 一式 |
| 3 | 配管配線 | 一式 |

第4章 河内受水場電気設備

第1節 概要

本工事は、河内受水場の次亜塩素注入装置の更新に伴い、運転操作設備等を取り替えるものである。

第2節 運転操作設備

- | | | |
|-----|---|----------------|
| 1 | 次亜塩素注入制御盤 | 1面 |
| (1) | 構造 | |
| ア | 型式 | 屋内壁掛形 前面保守形 |
| イ | 保護等級 | IP2XC相当 |
| ウ | 材質 | 鋼板製 |
| (2) | 盤内取付機器 | |
| ア | 次亜塩素注入制御器 | 2台 (機械工事業者支給品) |
| イ | フローセンサ用検出器 | 2台 (機械工事業者支給品) |
| ウ | 遠方監視制御装置 | 1台 |
| エ | ルーター | 1台 |
| (3) | 概略寸法 (参考) | |
| | 800W×1,950H×600D (単位 mm) | |
| (4) | 運転操作方法 | |
| | 操作フロー図を参考にすること。ただし、詳細については、監督員との協議のうえ決定するものとする。 | |
| (5) | 表示項目・入出力項目 | |
| | 別に示す表示項目表、入出力項目表を参考にすること。ただし、詳細については監督員との協 | |